

12

歴史

智識を世界に求めて

学習の目標： 明治政府は外国との関係をどのように築いていったのだろうか。

◎岩倉使節団はどこに何の目的で派遣されたのだろうか？



岩倉使節団： 全権大使 ① を筆頭に大久保利通や木戸孝允らが派遣された。

◎なぜ日本は大国ではなくドイツを参考にしたのだろうか？



◎外交政策 【中国(清国)・朝鮮・ロシアとの関係】

○清との関係

1871年 清と対等な条約を結び

○朝鮮との関係

・日本政府は鎖国をしていた朝鮮に対して開国を要求 → 朝鮮はこれを拒否

③ 板垣退助らは、武力で朝鮮に開国を要求すべきだと主張 ④ 論

この主張の第2の目的とは

1875年 ⑤ 事件 朝鮮に軍艦を派遣して挑発、砲撃をうける。

※領事裁判権などをふくむ、不平等な条規を認めさせる。

○ロシアとの関係

1875年 ⑥ 条約 ロシアとの国境を確定させた。



コメントの追加 [☆た1]: Q なぜ大国ではなくドイツなのか

・小国の様子に感銘をうけ、ドイツに憧れた。
明治初期のドイツ・日本・アメリカの様子の写真を見せる。

Q アメリカにはなぜ行ったのかな？

- ・不平等条約の改正
- ・領事裁判権の撤廃
- ・関税自主権の回復

A

日本もドイツも面積が広くない
両国ともに近くに強力な国が存在

コメントの追加 [☆た2]: Q 征韓論の真の目的とは
政府に不満を持つ士族たちの不満を外に向ける目的もある

- ①日清修好条規
- ②西郷隆盛
- ③征韓論
- ④江華島事件
- ⑤樺太千島交換条約